

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小武 尚之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR担当 (氏名) 西田 豊

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,041	8.6	4,182	27.3	4,237	28.9	2,943	28.0
29年3月期第3四半期	19,368	△5.4	3,287	△14.0	3,286	△15.9	2,299	△13.0

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 3,551百万円 (188.2%) 29年3月期第3四半期 1,232百万円 (△40.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	138.51	—
29年3月期第3四半期	108.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	60,542	52,108	86.1	2,452.06
29年3月期	57,563	49,746	86.4	2,340.93

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 52,101百万円 29年3月期 49,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	34.00	64.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年2月6日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

・平成29年3月期中間配当金の内訳 普通配当21円 記念配当5円

・平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当21円 記念配当5円

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	4.8	5,000	10.8	5,100	12.7	3,400	14.3	160.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月6日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) NITTO KOHKI U.S.A.,INC.

(注)詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	21,803,295 株	29年3月期	21,803,295 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	555,472 株	29年3月期	555,461 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	21,247,823 株	29年3月期3Q	21,248,075 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、輸出の増加などにより、国内での生産の増加や設備投資需要が堅調となっております。海外においても半導体関連の需要が堅調に推移しています。

世界経済を見ると緩やかな回復基調が継続していますが、米政権の保護主義的政策、中国経済の下振れや北朝鮮情勢など地政学リスクの高まりもあるため、先行きは楽観視できないと考えております

このような経営環境の中で、当社グループは、国内外とも需要は堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間における売上高は210億41百万円となり、前第3四半期連結累計期間193億68百万円と比較すると8.6%の増収となりました。利益面では、営業利益は41億82百万円となり、同32億87百万円と比較すると27.3%の増益、経常利益は42億37百万円となり、同32億86百万円と比較すると28.9%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億43百万円となり、同22億99百万円と比較すると28.0%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内・海外ともに需要が堅調に推移し、売上高は90億89百万円（前第3四半期連結累計期間比12.7%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加によってセグメント利益は24億65百万円（同30.7%の増益）となりました。

機械工具事業は、海外における電動ドライバの需要増加によって、売上高は69億90百万円（同5.5%の増収）となりました。利益面では、生産体制再編による経費の増加がありましたが、セグメント利益は9億38百万円（同4.1%の増益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、海外での売上げが堅調に推移し、売上高は32億92百万円（同4.9%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加と昨年に比べて経費負担が減少したことによって、セグメント利益は5億22百万円（同65.6%の増益）となりました。

建築機器事業は、国内の需要が堅調で、売上高は16億68百万円（同8.1%の増収）となりました。利益面では売上げの増加によって、セグメント利益は2億56百万円（同39.7%の増益）となりました。

海外売上高は、65億92百万円（前第3四半期連結累計期間比13.5%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は31.3%となりました。アジアのみならず欧米においても売上げが増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、605億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億79百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は429億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億43百万円の増加となりました。これは主に有価証券の増加5億98百万円、受取手形及び売掛金の増加4億19百万円、原材料及び貯蔵品の増加3億62百万円、商品及び製品の増加3億61百万円、現金及び預金の減少5億23百万円等によるものであります。

固定資産は、175億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億35百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券の増加16億92百万円、無形固定資産の増加2億55百万円、繰延税金資産の減少2億28百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は38億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億93百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加5億22百万円、賞与引当金の減少2億34百万円等によるものであります。

固定負債は、45億74百万円となり、前連結会計年度末と比較して23百万円の増加となりました。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、29億43百万円でしたが、配当金の支払い11億89百万円があったため、利益剰余金は、17億53百万円の増加で480億17百万円となりました。またその他有価証券評価差額金が4億67百万円、為替換算調整勘定が1億27百万円、退職給付に係る調整累計額が12百万円の増加等があったため純資産の部は、521億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億61百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、第3四半期までの実績と第4四半期の景況等を勘案し、通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成30年2月6日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,734	23,210
受取手形及び売掛金	6,850	7,270
有価証券	5,401	5,999
商品及び製品	3,038	3,400
仕掛品	206	258
原材料及び貯蔵品	1,558	1,921
繰延税金資産	559	591
その他	280	321
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,626	42,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,705	11,009
減価償却累計額	△5,065	△5,233
建物及び構築物(純額)	5,640	5,775
機械装置及び運搬具	3,319	3,423
減価償却累計額	△2,322	△2,505
機械装置及び運搬具(純額)	996	917
工具、器具及び備品	6,735	6,855
減価償却累計額	△6,145	△6,305
工具、器具及び備品(純額)	590	550
土地	3,824	3,682
リース資産	1,690	1,735
減価償却累計額	△494	△593
リース資産(純額)	1,195	1,141
建設仮勘定	173	295
有形固定資産合計	12,421	12,363
無形固定資産		
その他	226	481
無形固定資産合計	226	481
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055	3,747
長期貸付金	71	61
繰延税金資産	356	127
その他	822	807
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	3,289	4,727
固定資産合計	15,937	17,573
資産合計	57,563	60,542

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	561	1,083
リース債務	200	200
未払法人税等	557	700
賞与引当金	546	311
役員賞与引当金	21	15
その他	1,379	1,548
流動負債合計	3,266	3,860
固定負債		
リース債務	991	937
退職給付に係る負債	2,483	2,538
役員退職慰労引当金	346	374
資産除去債務	10	11
その他	718	713
固定負債合計	4,550	4,574
負債合計	7,817	8,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	46,264	48,017
自己株式	△918	△918
株主資本合計	49,120	50,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	816	1,283
為替換算調整勘定	△168	△41
退職給付に係る調整累計額	△27	△14
その他の包括利益累計額合計	619	1,227
非支配株主持分	6	6
純資産合計	49,746	52,108
負債純資産合計	57,563	60,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,368	21,041
売上原価	9,497	10,171
売上総利益	9,871	10,869
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,706	1,750
賞与引当金繰入額	153	174
退職給付費用	133	125
役員退職慰労引当金繰入額	27	27
販売促進費	705	663
研究開発費	498	572
その他	3,360	3,372
販売費及び一般管理費合計	6,584	6,686
営業利益	3,287	4,182
営業外収益		
受取利息	22	23
受取配当金	54	51
為替差益	-	6
受取家賃	24	24
その他	40	36
営業外収益合計	141	141
営業外費用		
売上割引	68	78
為替差損	66	-
その他	7	9
営業外費用合計	142	87
経常利益	3,286	4,237
特別利益		
固定資産売却益	-	98
特別利益合計	-	98
特別損失		
固定資産売却損	-	57
特別損失合計	-	57
税金等調整前四半期純利益	3,286	4,278
法人税等	986	1,334
四半期純利益	2,299	2,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,299	2,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,299	2,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	467
為替換算調整勘定	△1,252	127
退職給付に係る調整額	9	12
その他の包括利益合計	△1,067	608
四半期包括利益	1,232	3,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,233	3,551
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社(特定子会社)であったNITTO KOHKI U.S.A., INC.は、連結子会社であるMEDO U.S.A., INC.を存続会社とした吸収合併をしたことにより、連結の範囲から除外しております。

なお、MEDO U.S.A., INC.は、NITTO KOHKI U.S.A., INC.に社名変更をしております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	8,063	6,623	3,138	1,543	19,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,063	6,623	3,138	1,543	19,368
セグメント利益	1,886	901	315	183	3,287

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	9,089	6,990	3,292	1,668	21,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,089	6,990	3,292	1,668	21,041
セグメント利益	2,465	938	522	256	4,182

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。